

Q2: インターネット版 接続できない

以下、マニュアル 3 章 システムインストールおよび初期設定に従い、操作願います。
特に赤枠箇所が関連します。

以下は、注意点です。

- ・Java はインストールしましたか。
また、Java の最新版への更新は注意下さい。(更新しない)
- ・Web ブラウザで Java コンテンツを有効にし、**例外サイトの追加**を行う。
- ・Web ブラウザが、Microsoft Edge, Google Chrome は Java に対応していない
ので使用できません。**Internet Explorer** を使用ください。

D. 特性データベース予測・設計方法	20
D.1 特性予測（特性式利用）	20
D.2 特性予測（重回帰分析）	21
D.3 材料設計(組成最適化)（重回帰分析）	25
E. 構造データベース検索・解析方法	28
F. ユーザーデータベース登録・利用方法	31
F.1 データ登録	31
F.2 データ一括登録	33
F.3 ユーザーデータベース利用	36
付帯資料	
1. 多次式重回帰分析について	39
2. データ補間について	40
3. 代表値について	41

INTERGLAD のご使用が初めての方も、
本章の基本操作方法により一通りの利用ができます。
詳細はユーザーズマニュアル第 4 章をご覧ください。

システムインストールおよび初期設定方法

INTERGLAD 利用形態（スタンダード版、インターネット版、CD フル機能版）によりシステムインストールおよび初期設定方法が異なります。また、使用する Java のバージョンにより、利用可能な機能、設定方法が変わります（下の一覧表を参照ください）。

1. インターネット版利用
2. スタンダード版利用
3. CD フル機能版利用（1. 2. 3. につき、主に Windows 10 の場合で説明）
4. スタンダード版、CD フル機能版のアップデート方法
5. 新 INTERGLAD サーバーへの移行に伴う接続先変更方法

INTERGLAD Ver. 7 利用形態、利用可能機能、設定

1. インターネット版：システムのインストール不要、最新のデータでファイル入出力およびユーザーデータ以外のフル機能が利用できます

システム インス トール	インター ネット 接続	認証	Java (32bit)	利用 データベース ¹⁾	利用機能					パソコン			
					検索	解析	予測 設計	印刷 ²⁾	ファイル 入出力 ³⁾	ユーザーデータ 変換・登録	動作環境	バッチファイル書き換え	
											Win 32bit	Win 64bit	
不要	要	サーバー (ID, PW)	Ver. 7 Ver. 8	サーバーDB	○	○	○	○	×	—	Windows Linux Mac OS X	—	—

2. スタンダード版：最新のデータでフル機能が利用できます（Java Ver. 7使用の場合） 最新のデータでユーザーデータ以外のフル機能が利用できます（Java Ver. 8使用の場合）

システム インス トール	インター ネット 接続	認証	Java (32bit)	利用 データベース ¹⁾	利用機能					パソコン			
					検索	解析	予測 設計	印刷 ²⁾	ファイル 入出力 ³⁾	ユーザーデータ 変換・登録	動作環境	バッチファイル書き換え	
											Win 32bit	Win 64bit	
要	要	サーバー (ID, PW)	Ver. 7	サーバーDB	○	○	○	○	○	—	Windows Linux* Mac OS X* (*サーバーDB のみ)	要 ⁵⁾	要 ⁶⁾
				ローカルDB	○	○	○	○	○	—		—	
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	○		—	
			Ver. 8	サーバーDB	○	○	○	○	○	—	不要	不要	
ローカルDB	×	×		×	×	×	—	—					
ユーザーDB	×	×		×	×	×	×	—					
暫定版 ⁴⁾ 解冻	要	サーバー (ID, PW)	Ver. 8	サーバーDB	○	○	○	○	○	—	Windows	—	—
				ローカルDB	○	○	○	○	○	—	Linux	不要	不要
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	×	Mac OS X	—	—

3. CDフル機能版：インターネットに接続せず、フル機能が利用できます（Java Ver. 7使用の場合） インターネットに接続せず、ユーザーデータ以外のフル機能が利用できます（Java Ver. 8使用の場合）

システム インス トール	インター ネット 接続	認証	Java (32bit)	利用 データベース ¹⁾	利用機能					パソコン			
					検索	解析	予測 設計	印刷 ²⁾	ファイル 入出力 ³⁾	ユーザーデータ 変換・登録	動作環境	バッチファイル書き換え	
											Win 32bit	Win 64bit	
要	不要	アクセッ スキー	Ver. 7	ローカルDB	○	○	○	○	○	—	Windows	要 ⁵⁾	要 ⁶⁾
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	○		—	
			Ver. 8	ローカルDB	×	×	×	×	×	—	—		
				ユーザーDB	×	×	×	×	×	×	—		
暫定版 ⁴⁾ 解冻	不要	アクセッ スキー	Ver. 8	ローカルDB	○	○	○	○	○	—	Windows Linux	不要	不要
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	×	Mac OS X	—	—

(注)

1) 利用データベース

- ・サーバーDB: ニューガラスフォーラムのINTERGLADサーバー中のデータベース（常に最新のデータを利用可能）
- ・ローカルDB: ユーザーのパソコンにインストールされたINTERGLAD中のデータベース（Web上あるいはCD中のINTERGLADシステムをダウンロードして使用）、毎年更新
- ・ユーザーDB: ユーザーによりINTERGLADに登録されたデータのデータベース（ユーザーのパソコン中に保管）、サーバーDB、ローカルDBと一緒に検索等の使用可能

2) 印刷: 表全体（画面に現れていない部分も含め）、図の印刷ができます

3) ファイル入出力: 検索条件、検索結果、解析結果、予測結果等のデータ保存（ユーザーのパソコン中への画面データのCSVあるいは画面保存）

4) 暫定版: Java Ver. 8で利用できるよう、JDBCおよびUCanAccessを利用した版（Java Ver.8にODBCデータソースへのアクセス機能がなくなったため暫定的に作成したもの）

5) 32bit バッチファイルの書き換え 冒頭の「java」 → 「"c:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe"」 Java Ver. 7のみがインストールされている場合には書き換え不要

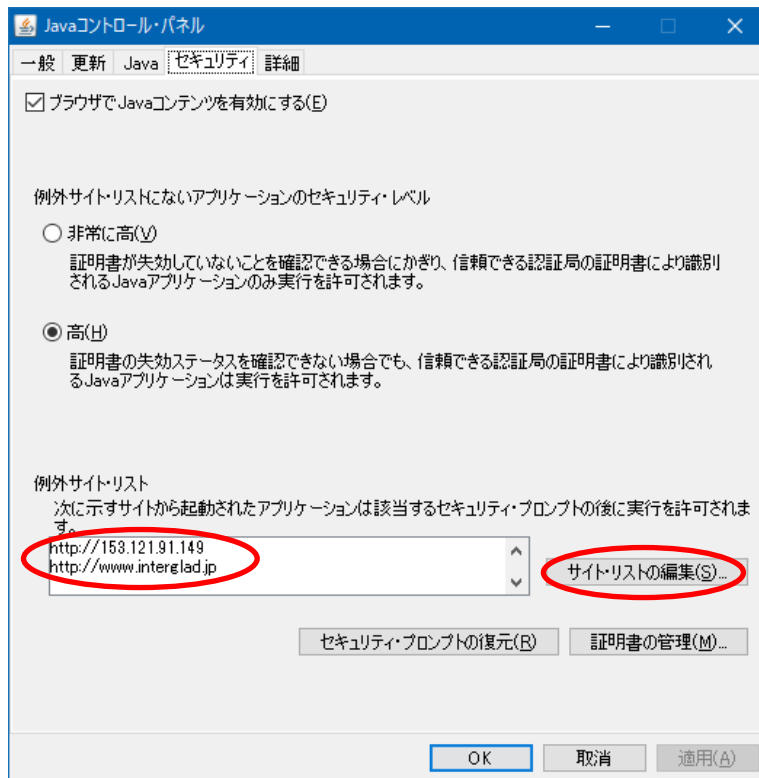
6) 64bit バッチファイルの書き換え 冒頭の「java」 → 「"c:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\java.exe"」 Java Ver. 7のみがインストールされている場合にも書き換え要

なお、INTERGLADは特性データベースと構造データベースより構成されます。構造データベースには予測・設計機能、ユーザーデータ機能がありません。また英語版のみとなります

特に関連する箇所です（赤枠部）

1. インターネット版利用

インターネット版は、Web ブラウザとして Internet Explorer (9.0 以上) を使用の場合、Java (Version 6~8) のインストールのみで使用できます (2. ②参照)。Windows 10 等の場合、以下の操作が必要になります。コントロールパネルを開き、Java を選択します。開いた Java コントロール・パネルのセキュリティタブをクリックし、「ブラウザで Java コンテンツを有効にする」にチェックを入れ、「サイトリストの編集」をクリックし、例外サイト・リストを開き、追加をクリックし、http://153.121.91.149 および http://www.interglad.jp を追加してください。インターネット版を使用する際、URL として http://153.121.91.149/interglad7/ あるいは http://www.interglad.jp/interglad7/ が使用でき、それぞれに対応した上記の Java 例外サイト追加が必要となるためです。なお、Web ブラウザの Microsoft Edge、Google Chrome は Java に対応していないため使用できません。Web ブラウザの詳細については第 2 章 4. (2) 3) をご覧ください。



Java コントロール・パネル セキュリティ画面

インターネット版の起動は、http://153.121.91.149/interglad7/ あるいは http://www.interglad.jp/interglad7/ により INTERGLAD WEB ページを開きます。このページは、ニューガラスフォーラム Web サイトより、INTERGLAD Ver. 7 ページを開き、右欄の INTERGLAD 接続、Ver.7 インターネット版をクリックすることによっても開くことができます。画面左の User ID および Password 記入欄にそれぞれを記入し、LOGIN ボタンをクリックします。その後、Windows10 の場合、以下のようなダイアロ

グ対処が必要となる場合があります。

①「Java は最新のものではなく更新が必要なためブロックされました」⇒「今回は実行」

②「このページを再表示するには、以前送信した情報を再送信する必要があります」
⇒「再試行」

③「Java のバージョンは最新ではありません」⇒「→後で」

④「このアプリケーションを実行しますか」⇒「実行」

INTERGLAD Ver.7 のメイン画面が現れますが、INTERGLAD WEB 画面の下となりますので、メイン画面を上にして利用してください。

2. スタンダード版利用

① パソコンの OS (オペレーティングシステム) 確認

パソコン OS が 64bit 版か 32bit 版かを以下により確認します。コントロールパネルのシステムとセキュリティを開き、システム画面を開くと、システムの種類が 64 ビットオペレーティングシステム、あるいは 32 ビットオペレーティングシステムと表示されます。

② Java インストール

下記 Web ページより Java をパソコンにダウンロードしてインストールします。

http://java.com/ja/download/ie_manual.jsp

この場合、通常、パソコン OS にかかわらず Java Ver. 8 の 32bit 版（最新版）が導入されます。Java Ver. 7 までには ODBC データソースへのアクセス機能がありましたが、Ver. 8 にはこの機能がありません。従って、Java Ver. 8 使用の場合、ローカル DB (データベース) およびユーザー DB の使用ができなくなりました。そこで、INTERGLAD のフル機能利用のためには下記のサイトより Ver. 7 (32bit 版) をインストールすることが必要となります。なお、Ver. 7 については Oracle 社のパブリックアップデートがすでに終了しています (2015.4)。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/java-archive-downloads-javase7-521261.html#jre-7u80-oth-JPR>

Windows x86 Offline: jre-7u80-windows-i586.exe

なお、このダウンロードは、画面の手順に従い、無償の Oracle プロファイルを取得し、設定したユーザー名、パスワードを入力して行います (わかりにくい場合には NGF 事務局にご相談ください)。

Java Ver. 7 がすでにインストールされている場合には、Java のアップデートにより、Ver. 7 を削除しないよう注意します。なお、セキュリティ上の必要がある場合には Oracle 有償サポートを利用することもできます。

またスタンダード版の場合、ユーザーデータ機能以外のすべての機能を Ver. 8 のインストールのみで利用できます。